



桜一第33号

令和3年10月1日

桜岡小学校ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakuraoka/>

分散登校で行ったオンライン授業

副校長 遠藤 義臣

蟄虫坏戸（むしかくれてとをふさぐ）季節となりました。朝夕が涼しく過ごしやすくなり、この季節候で言われているように、これからくる冬に備えて、虫たちが戸をふさぐように、冬ごもりの準備を始める頃だそうです。校長室の前に校長先生がその都度掲示されている季節候を引用しました。その72候を一つひとつ読んでいくと、季節の移り変わりが分かりやすく、なるほどと思えます。現在環境の変化が激しいと言われていますが、昔から言われている季節候から、変わらない自然も存在していると思いました。

同じように、現在の環境でも変わらない教育もあります。授業には、児童と児童の交流が必要だということです。しかし、分散登校によって登校班が違うために、仲良しの友達と会えなかったり、半数の児童として授業交流が出来なかったりする現状がありました。

そこで本校では、分散登校2日目からオンライン授業を導入しました。職員が研修を重ね、全員の児童と交流ができるように取りかかりました。初めての事なので、タブレット端末の操作にとまどう児童もみられましたが、「一人ひとりていねいに」と声かけをしながらのスタートでした。

このオンライン授業により、仲良しの児童と画面を通してですが会うことができ、その児童と意見を交わせる喜びがあり、慣れてくると自然と画面ごしに会話している児童も多く見られるようになりました。



今では、当たり前のようにオンライン授業を行っています。低学年の授業では、朝の会などに画面から先生の言ったことに頷いたり、意見を言ったりしている様子があり、教室にいる児童はその反応を楽しんで会話をする様子も見かけるようになりました。他の学年においても、手を挙げるボタンを上手に活用して発言をしている児童の様子もありました。それぞれの学年で児童自らが先生と一緒に工夫している様子を多く見られるようになりました。



全学年でオンライン授業を開始したことで、前年度のような分散登校とは違った様子を多く見かけます。

ここに至るまで、タブレット端末の操作やご家庭での環境整備など保護者の方に多大なご協力を頂いたことと思います。本当にありがとうございました。ネットが繋がりにくくなる時の対応やチャットの扱いなど課題もありますが、丁寧に課題を解決していきながら進めていきたいと思えます。

さて、来週から分散登校ではなく通常登校に戻ります。今後も感染症対策を徹底しながら進めていきたいと思っておりますのでご理解とご協力の程宜しく申し上げます。なお、毎朝の健康観察時の検温及びロイロノート・スクールでの報告は、引き続き忘れずにご家庭でお願いします。